

社会福祉法人
横浜市戸塚区社会福祉協議会

令和2年度 事業報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日



1 理事会・監事監査会・評議員会等の開催状況

(1) 理事会の開催

日程	場所・人数	内容	結果
6月	理事11名 監事3名	1 令和元年度事業報告・決算報告について 2 会員の承認について 3 評議員会の招集事項について	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため決議の省略
9月9日 (水)	フレンズ戸塚 多目的研修室 理事10名 監事3名	1 予算の補正について 2 資産の運用について 3 評議員候補者の推薦について 4 評議員選任・解任委員会の招集について 5 評議員会の招集について	承認
12月10日 (木)	フレンズ戸塚 多目的研修室 理事11名 監事3名	1 予算の補正について 2 基金の取り崩しについて 3 評議員会の招集について	承認
3月	理事11名 監事3名	1 会員の承認について 2 評議員選任・解任委員会運営規則の一部改正について 3 役員等賠償責任保険契約について 4 予算の補正について 5 令和3年度事業計画及び収入支出予算について 6 評議員会の招集について	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため決議の省略

(2) 監事監査会の開催

日程	場所・人数	内容	結果
6月2日 (火)	監事3名 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、郵送にて実施	1 令和元年度業務執行状況、経理状況及び財産状況について	令和元年度業務執行・経理・財産管理は適正

(3) 評議員会の開催

日程	場所・人数	内容	結果
6月	評議員21名	1 令和元年度事業報告・決算報告について	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため決議の省略

9月28日 (月)	フレンズ戸塚 多目的研修室 評議員16名 監事3名 会長1名	1 予算の補正について	承認
12月23日 (水)	フレンズ戸塚 多目的研修室 評議員16名 監事3名 会長1名	1 予算の補正について 2 各種規程の一部改正について	承認
3月	評議員23名	1 予算の補正について 2 経理規程の一部改正について 3 令和3年度事業計画及び収入支出予算について	新型コロナウイルス 感染症拡大防止のため 決議の省略

(4) 評議員選任・解任委員会の開催

日程	場所・人数	内容	結果
9月11日 (金)	フレンズ戸塚 多目的研修室 委員 4名	1 評議員の選任について	承認

(5) 会員加入状況

令和2年度新規加入数 1 件（前年度 5 件）

① 正会員

	会員種別	会費額(円)	会員数(名・団体)	納入金額(円)
1	公私社会福祉事業施設 及び団体	10,000	65	650,000
2	民生委員・児童委員	1,000	318	318,000
3	地区社会福祉協議会	10,000	18	180,000
4	地区連合町内会	10,000	18	180,000
5	障害福祉団体等当事者 団体	5,000	43	215,000
6	ボランティア団体・ 市民活動団体	5,000	41	205,000
7	保護司	1,000	34	34,000
	その他社会福祉に関係 ある団体	5,000	37	185,000
合 計			574	1,967,000

② 世帯会員(会費額 40 円)

会員数	納入金額
81,948 世帯	3,277,920 円

③賛助会員(会費額 団体一口 5,000 円・個人一口 1,000 円)

会員数	納入金額
1 団体	5,000 円

2 部会の開催状況

(1) 専門機関部会の開催

①福祉のしごとフェア

区内の福祉人材の確保を目的として、人材を求める福祉の職場と福祉の仕事を希望する人材を結び付ける場の提供と、福祉の仕事について知ってもらう機会を提供するため、例年「福祉のしごとフェア」を開催しておりましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、フェアは開催せず、冊子配布をしました。

○配布期間：令和2年11月下旬～ 配布数：200冊

○配布先：市内公立高等学校、専門学校、区民利用施設 他

②研修

日程	場所・人数	内容
10月27日 (火)	フレンズ戸塚 多目的研修室 22名 (対象：施設 長等の運営統 括責任者)	「組織で取り組むリスクマネジメント研修 ～効果的なリスク管理 を目指して～」 【講義・演習】 「経営層の責任が問われかねない時代にどのような体制整備が求め られるのか」 ○福祉経営におけるリスクマネジメントの基本と実践方法 ○自然災害や新型コロナウイルスの発生等の危機的事態への組織的対応 ○福祉における事業継続計画の立案と運用 ○リスク出現時の対応体制のポイント 新型コロナウイルスにおけるリスクへの組織的対応についての解説 講師 株式会社 フォーサイトコンサルティング 代表取締役 浅野 睦 氏



3 分科会の開催状況

(1) 地区社協分科会

①会議開催状況

日程	場所・人数	内容
4月		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
6月23日 (火)	フレンズ戸塚 多目的研修室 地区社協16名 区役所2名	1 令和2年度 地区社協分科会長・副分科会長・各委員の選出について 2 令和2年度 地区社協活動支援助成金について 3 地区社協ヒアリングについて 4 第4期とつかハートプランについて
9月29日 (火)	フレンズ戸塚 多目的研修室 地区社協18名 区役所2名	1 戸塚区ネットワーク訪問事業について 2 令和2年度 地区社協活動支援助成金について
12月		障害者週間シンポジウムとして研修の予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
1月		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
3月23日 (火)	フレンズ戸塚 多目的研修室 地区社協18名 区役所1名	1 分科会長等の選出について 2 令和2年度 地区社協活動支援助成金について 3 令和3年度 地区社協活動支援助成金について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、分科会も中止や人数を制限しての開催となりました。各地区社協の事業も中止や延期となることが多い一年となりました。次年度は新しい生活様式に合わせた事業実施について、分科会の中で共有・検討していきます。

(2) 障がい福祉分科会 (共同募金配分金)161千円

①会議開催状況

日程	場所・人数	内容
5月14日 (木)	フレンズ戸塚 多目的研修室	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
9月17日 (木)	フレンズ戸塚 多目的研修室 会員：19名	1 障害者週間シンポジウムについて 2 各団体の現状について

12月3日 (木)	男女共同参画センター横浜	<p>障害者週間シンポジウム「とつかで暮らす」</p> <p>障害者週間(12月3日～9日)に合わせて、地区社会福祉協議会分科会と共催で、地域福祉保健計画第4期計画の策定に合わせ、保土ヶ谷区と泉区から、地域福祉保健計画の中で行った、障害の理解を深めるための取組について発表</p> <p>*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止したが、発表を撮影編集し、今後各種会議において放映予定</p>
2月	書面表決	<p>1 本会理事・評議員候補者等の選出について</p> <p>2 令和2年度事業報告・令和3年度事業計画について</p>
通年	戸塚区内	<p>障がい者理解・啓発用映像 DVD 貸出</p> <p>「まちものがたり1 ～知的な障がいのある方々の暮らし～」 「まちものがたり2 ～身体に障がいのある方々の暮らし～」 「まちものがたり3 ～精神障がいのある方々の暮らし～」 「まちものがたり ～グループホームでの暮らし～」</p> <p>障がいの普及啓発の促進のため、障がい者の生活を知ってもらい理解を深める手段として、制作したDVDの貸出を行いました。</p>
新規取組		<p>自主製品紹介パンフレット「まちものがたり SHOP」の作成</p> <p>*会員15事業所の自主製品を紹介するパンフレットを作成しました。各種会議、AEON 障害者週間啓発イベント、区内地域ケアプラザ等に配布しました。 ☆区社協ホームページからもダウンロードして活用できます。毎年更新し、新しい情報を提供していきます。 ★共同募金配分金を財源にしたことを、裏面に明記しました。</p> <p>活動紹介パネルの作成</p> <p>*障がい福祉分科会会員の19団体が、自主活動を紹介するパネルを作成しました。AEON 障害者週間啓発イベントで展示を行い、今後も、各種イベント等で展示していきます。</p>



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会議の中止等がありました。しかし、自主製品紹介パンフレット「まちものがたり SHOP」の作成や、活動紹介パネルの作成、障害者週間シンポジウムを録画し、今後の会議で視聴可能とする等、新たな取組も行いました。次年度は、新たに作成した障害理解啓発ツールの周知を積極的に行っていきます。

(3) ボランティア・市民活動推進分科会

①ボランティア分科会

日程	場所・人数	内容
7月10日 (金)	フレンズ戸塚 多目的研修室 21名	1 令和2年度ボランティア分科会について 2 コロナ状況下での活動について 3 福祉ボランティア・市民活動部会報告 4 情報交換
10月30日 (金)		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
2月12日 (金)		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会議がほぼ中止となりました。
次年度はコロナの感染状況を判断しながら、開催時期等を検討していきます。

②市民活動推進分科会

日程	場所・人数	内容
5月11日 (月)		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
8月17日 (月)	フレンズ戸塚 多目的研修室 2名	1 情報交換 2 指定NPO法人シニアライフセラピー研究所 亀吉視察報告
10月30日 (金)		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
1月18日 (月)		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
3月15日 (月)		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会議がほぼ中止となりました。
次年度はコロナの感染状況を判断しながら、開催時期、開催回数等を検討していきます。

(4) 区民生委員児童委員協議会定例会への出席

7回（場所：区役所会議室）

(5) 区連合町内会自治会連絡会定例会への出席

4回（場所：区役所会議室）

4 各種委員会の開催

(1) 社協とつか編集会議

日程	場所・人数	内容
7月14日 (火)	フレンズ戸塚 団体交流室2 6名	「社協とつか」第77号について（検討）
11月6日 (金)	フレンズ戸塚 団体交流室2 6名	「社協とつか」第78号について（検討）
2月25日 (木)		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(2) 助成金等交付審査会

日程	場所・人数	内容
7月21日 (火)	フレンズ戸塚 多目的研修室 10名	1 令和元年度 助成金の返還について (1) 戸塚区社協ふれあい助成金の返還について (2) 戸塚区社協フレンズ助成金の返還について 2 令和2年度 助成金助成配分について (1) 戸塚区社協ふれあい助成金助成配分について (2) 戸塚区社協フレンズ助成金助成配分について 3 善意銀行寄託金品等について (1) 令和元年度寄託金品受入れと配分実績について
3月	書面表決	1 審議事項 (1) 令和3年度戸塚区社協ふれあい助成金・フレンズ助成金財源・配分予算について (2) 令和3年度戸塚区社協ふれあい助成金・フレンズ助成金について (3) 令和3年度善意銀行について 2 報告事項 (1) 令和2年度戸塚区社協ふれあい助成金・フレンズ助成金配分結果について (2) 令和2年度新規立上げ区分について (3) 令和2年度善意銀行について

(2) ボランティアセンター運営委員会

開催月日	場所・人数	議題
11月25日 (水)	フレンズ戸塚 団体交流室2 5名	ボランティア活動関係事業について
3月		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

5 広報啓発事業 (共同募金配分金)781千円

(1) 広報紙の発行状況

各分科会から選出された編集委員が中心となり、広報紙「社協とつか」を編集・発行しました。

号数・発行時期	発行部数・配布方法	内容
○第77号 (2020年10月発行)	3,000部 ・関係機関等配布	1 特集 住民主体のまちづくり (第5弾) 「男性ボランティア活動、居場所広がっています」 2 福祉人材シリーズ 戸塚の輝くひと 3 戸塚区社会福祉協議会事業・決算報告
○第78号 (2021年3月発行)	3,000部 ・関係機関等配布	1 特集 住民主体のまちづくり (第6弾) 「コロナ禍での地域活動」 2 まちものがたりSHOPのご紹介 3 善意銀行について 4 福祉人材シリーズ 戸塚の輝くひと



★共同募金配分金を財源にしたことを、裏面に明記しました。

(2) 区社協かわら版『おじゃましますっ！戸塚区社協です』の発行

区社協情報を周知するため、主に地域活動者や支援機関・団体に向けた区社協かわら版を発行しました。

号数・発行時期	発行部数・配布方法	内容
○第12号 (2020年4月発行)	500部 ・地域活動者、 支援機関・団体 など	職員体制・紹介

(3) ホームページの管理運営

区社協事業及び地域福祉の広報・啓発、地域住民の意見収集、各地区社協情報を掲載するため、ホームページの更新等を行いました。

法人運営の状況のほか、地域の情報や本会主催イベント等を随時発信しました。

○アクセス数：52,631回

○更新回数：89回

○URL：<http://www.totsukashakyo.com/>

★共同募金配分金を財源にしました。

(4) FMとつかへの出演

毎月第1.3金曜日のFMとつか「戸塚井戸端会議」の中で、区社協の職員紹介や事業紹介を行いました。

新型コロナウイルス感染症の対応により、変更のあった拠点の運営方法や生活福祉資金の対応状況など常に最新情報を掲載するよう更新を行いました。その結果、アクセス件数は昨年度より15,057回増加し、戸塚区社会福祉協議会のホームページを沢山の方に見ていただく機会が増えました。

6 身近な地域のつながり・支えあい活動推進

(1) 生活支援体制整備事業 (市社協受託金)200千円

地域包括ケアシステム構築に向け、介護保険の地域支援事業に位置づけられている生活支援体制整備事業推進のため、自治会町内会・ボランティア団体・NPO法人・民間企業など多様な主体間の連携強化を図り、高齢者の生活支援・介護予防の充実のための基盤整備を行いました。

事業実施にあたっては、区役所や地域ケアプラザと一体となり、生活支援を行う担い手の養成・発掘、新たな活動の創出など、高齢者を地域全体で支えあう地域づくりを推進しました。

①区域の活動

ア 地域アセスメント

- ・区域の社会資源の収集・整理・データ化 (Ayumu システム)
- ・四半期ごとに区域、地域ケアプラザエリアで地域情報共有シートを生活支援 Co が作成し、連絡会全体で共有
- ・地区担当者が担当地区のアセスメントを行い職員全体で共有

イ 住民主体の地域づくり (ネットワークづくり、連絡・協議の場)

- ・コロナ禍における移動販売支援についての打合せ (ファミリーマート小浦平戸店ほか)
- ・戸塚泉栄工業会による「地域と企業・団体の橋わたし事業」についての意見交換
- ・社会福祉法人と地域つながる連絡会準備会の開催

ウ 社会資源の拡充・開発に向けた取組

- ・地区社協、地域ケアプラザと協力した「憩いの場作り講座」の開催
- ・福祉施設と協力したサロン活動の開発
- ・コロナ禍における移動販売エリアの拡大、推進

エ 広報啓発

号数・発行時期	発行部数・配布方法	内容
○生活CODE NEWS3号 (2020年11月発行)	500部 ・地域活動者・支援機関・区民利用施設など	・「新しい生活様式」とボランティア活動団体の活動事例紹介 ・地域ケアプラザ生活支援CO紹介
○生活CODE NEWS4号 (2021年2月発行)	500部 ・地域活動者・支援機関・区民利用施設など	・コロナ禍におけるボランティア活動団体の活動事例紹介 ・地域ケアプラザ生活支援CO紹介
○戸塚区地域福祉保健活動事例集 (2021年3月発行)	400部 ・地域活動者・支援機関・団体など	区内で「居場所」「生活支援」「見守り」活動をしている団体(11)の事例紹介 (冊子および戸塚区役所HPに掲載)

②第2層生活支援コーディネーター支援

第2層生活支援コーディネーター連絡会の開催 10回

※4月と5月の連絡会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

③関係会議への出席

毎月開催される、市域の生活支援体制整備推進会議へ出席し、各区の取組状況の把握、共有等を行いました。また、区役所、地域ケアプラザ主催の推進会議に出席しました。

(2) 身近な地域のつながり・支えあい活動推進事業

地域の見守りや支えを必要とする人や、制度の狭間で支援に結びついていない人など、様々な生活課題を抱えている人たちを、本事業と生活支援体制整備事業が連携・協働し、地域ケアプラザと一体的に、住民主体の見守り支えあう地域づくりの支援を行いました。

①戸塚区こどもと地域つながる連絡会につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を見合わせました。

②横浜市社会福祉協議会・東戸塚地域ケアプラザと共催で、令和3年2月19日(金)に身近事業出前勉強会を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を見合わせました。

【新たな取組】

- ・コロナ禍において、生活困窮になっている方やひとり親家庭など食にお困りの方への対応を進めていくため、区内地域ケアプラザに対して区社協で実施している食支援についてチラシを作成し、周知しました。
- ・関係機関（子ども家庭支援課・とっとの芽・NPO法人フードバンク浜っ子南）と特に食にお困りのひとり親家庭への区内の支援状況等について情報交換会を実施しました。
- ・戸塚区役所（地域振興課）、横浜市資源循環局（戸塚事務所）とフードドライブの常設について覚書を締結し、常設会場において集まった食品の受入を行い、生活困窮になっている方々などに配布しました。

(3) 地域ケアプラザ連携支援 (市社協補助金)82 千円

①地域交流コーディネーター連絡会 10 回

※4 月と 5 月の連絡会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

日常生活圏域における地域の福祉拠点である地域ケアプラザと連携して地域支援を行うために連絡会を開催し、情報交換や課題の共有、課題解決に向けた協議・検討を行いました。

②コーディネーター研修

日程	場所・人数	内容
10月7日 (水)	上倉田地域 ケアプラザ 13名	「社会福祉協議会」について ・市社協、区社協、地区社協等について ・運営の成り立ち、お金の流れ（団体事務や会員組織として） 講師：戸塚区社会福祉協議会 事務局長 安部 力
11月4日 (水)	東戸塚地域 ケアプラザ 13名	「地域活動ホーム」について ・地域活動ホームの役割、地域CPとの連携について ・施設案内・見学（連絡会終了後、参加希望者のみ） 講師：東戸塚地域活動ホームひかり 施設長 中瀬 明德 氏
12月2日 (水)	上倉田地域 ケアプラザ 12名	「障害の制度・支援」について 地域CPとの連携事例、事例を踏まえた役割について 講師：後見的支援センターとつかエコー 松丘 昌三 氏
2月3日 (水)		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(4) 地域ケアプラザ運営協議会への出席

連携・協働して地域支援に取り組むために、地域ケアプラザが開催する運営協議会に出席・書面表決をしました。

(5) 地域ケアプラザ所長会への出席

事業連携・協力、情報提供及び課題解決に向けた協議等のため出席しました。

(6) その他ケアプラザ関係会議への出席

個別支援と地域支援を連動させた地域支援を実践するため、包括支援センター各種会議へ出席し、事業連携・協力、情報提供等を行いました。

(7) 社会福祉法人と地域つながる連絡会の取組

①連絡会の開催

例年、山積する地域課題を解決し、誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会を創り出すため、多様な機関が重層的に連携・協働した取組ができるよう、地域の活動団体・組織、ボランティア、NPO 法人、民間企業、社会福祉法人等が参加する連絡会を開催しておりました。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催はできませんでした。そのため、連絡会を開催するため、準備会において検討を行いました。

【準備会】

日程	場所・人数	内容
7月30日 (木)	フレンズ戸塚 多目的研修室 4名	1 令和2年度 社会福祉法人と地域つながる連絡会について 2 コロナ禍における各法人の取組について 3 令和2年度 福祉のしごとフェアについて
9月8日 (火)	フレンズ戸塚 団体交流室2 3名	1 コロナ禍における各法人の取組について 2 今後の準備会について
3月29日 (月)	オンライン 7名	1 各施設からの近況報告 2 令和3年度 社会福祉法人と地域つながる連絡会の取組について 3 その他

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度は準備会のみで開催となり、社会福祉法人と地域つながる連絡会自体の開催は見合わせるようになりました。次年度は新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、開催時期等を検討していきます。

7 地区社協活動の支援

地域支援に関わる各業務を通じて、地域福祉保健計画「とつかハートプラン」に基づき、住民と共に小地域福祉活動支援に取り組みました。従来からの地区社協活動支援に加え、今年度も引き続き地域ケアプラザと連携をより深め、住民により身近な地域での課題把握、解決の仕組みづくりに取り組みました。

(1) 地区社協活動支援助成金の交付 (市社協補助金・共同募金他) 6,506千円

地区社協活動の充実・活性化及び支援・育成、安定した活動費確保のため、活動費の一部を助成しました。

No.	地区名	組織運営活動	事業活動※	社会を明るくする運動	合計
		(市社協補助金)	(共同募金)	(世帯会費)	
1	戸塚第一	50,000	402,000	30,000	482,000
2	戸塚第二	50,000	171,000	30,000	251,000
3	戸塚第三	50,000	346,000	30,000	426,000
4	踊場	50,000	255,000	30,000	335,000
5	北汲沢	50,000	164,000	30,000	244,000
6	舞岡	50,000	297,000	30,000	377,000
7	川上	50,000	188,000	30,000	268,000
8	柏尾	50,000	244,000	30,000	324,000

9	東戸塚	50,000	241,000	30,000	321,000
10	平戸	50,000	297,000	30,000	377,000
11	平戸平和台	50,000	185,000	30,000	265,000
12	上矢部	50,000	262,000	0	312,000
13	名瀬	50,000	300,000	0	350,000
14	大正	50,000	702,000	30,000	782,000
15	汲沢	50,000	206,000	30,000	286,000
16	上倉田	50,000	353,000	30,000	433,000
17	下倉田	50,000	311,000	30,000	391,000
18	吉田矢部	50,000	202,000	30,000	282,000
	合計	900,000	5,126,000	480,000	6,506,000

※事業活動内訳：一律¥90,000+前年度の戸別募金額に応じた助成

(2) 地区担当制導入

地区社協毎に区社協事務局職員を担当者として定め、区役所・地域ケアプラザなど支援機関と連携し、地区社協活動への支援を強化しました。

(3) 地区社協事業への参加・支援

地域会議や事業、行事へ参加し、把握した地域課題や問題を整理・蓄積、地域課題解決に向けた支援を行いました。

(4) 社会を明るくする運動

犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする運動を戸塚保護司会、戸塚区更生保護女性会、18地区社会福祉協議会との連携により実施しました。

①街頭啓発等

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、駅周辺での啓発運動及び「戸塚区更生バザー」については中止となりました。

②18地区ミニ集会（広報啓発）

各地区で、ミニ集会の実施や啓発グッズの購入を行い、各町内会や行事で配布を行いました。

(5) 地域ネットワーク訪問事業の実施

地域のネットワークにより、声かけ、見守りを中心とした定期的な訪問を行い、ひとり暮らし高齢者等が地域で安心して暮らしていけるよう「地域ネットワーク訪問事業」を区役所から委託を受け実施しました。

①地区連絡会活動費の交付

地区社協名	交付額 (円)	北汲沢	40,000	平戸	38,000	汲沢	45,000
戸塚第一	43,000	舞岡	38,000	平戸平和台	32,000	上倉田	41,000
戸塚第二	26,000	川上	35,000	上矢部	35,000	下倉田	41,000
戸塚第三	43,000	柏尾	41,000	名瀬	37,000	吉田矢部	34,000
踊場	39,000	東戸塚	43,000	大正	81,000	合計	732,000

②地区連絡会代表者会議の開催

日程	場所・人数	内容
9月25日 (金)	フレンズ戸塚 多目的研修室 15名	1 戸塚区地域ネットワーク訪問事業について 2 令和元年度訪問事業実施状況について 3 意見交換（コロナ禍における訪問活動について）
2月	書面開催	1 令和2年度各種報告書について 2 令和3年度地区連絡会活動交付金申請書について 3 その他

③各地区に対する支援

各地区でのネットワーク訪問事業について、地区社協及び各団体と協力し、活動を推進しました。

8 地域福祉保健計画の推進

(1) 地域福祉保健計画の推進(地域福祉活動計画と一体化)

「地域の福祉保健課題を地域が主体的に解決する」という「とつかハートプラン」の趣旨に基づき、区役所、地域ケアプラザと連携・協働して、第3期とつかハートプランを推進しました。また、第4期とつかハートプラン(令和3~7年度)の策定に向けて、検討を進めました。

①区策定・推進委員会の開催

日程	人数・場所	内容
10月8日 (木)	戸塚区役所 9階特別会議室 委員 17名 行政 12名	1 第3期とつかハートプランの取組について 2 第4期とつかハートプランの策定について (1) 素案のたたき台について (2) 今後の策定スケジュールについて



②各地区別計画推進委員会の開催

第3期地区別計画の推進及び第4期計画の策定に向けて、事務局として参加しました。なお、地域と連携チームが一体となり、地域課題の解決に向けて協議・検討を行いました。

③定例会の開催

区役所と定例会を開催し、情報共有、進捗状況の確認等を行いました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各地区の会議等が開催できず、第4期策定スケジュールが半年延期となりました。令和3年3月末には、各地区の第4期地区別計画原稿も出来上がり、第4期とつかハートプラン開始に向けて動き出しています。次年度はより多くの方にとつかハートプランを知っていただけるように、啓発に力をいれていきます。

9 ボランティア活動関係事業

(区受託金)500千円

(1) ボランティア登録者数

新規個人登録	累計個人登録	新規団体登録	累計団体登録
30名	316名	1団体	51団体

(2) ボランティア相談件数

相談件数
971件

(3) ボランティア派遣件数

依頼件数	98件
派遣件数	55件
対応率(%)	56.1%



(4) ボランティアコーディネートの状況

依頼者分類	依頼件数	紹介件数	調整中	調整つかず	取り下げ	情報提供	紹介人数	調整数
児童	5	5	0	0	0	0	8	172
障害	34	17	6	0	3	8	55	365
高齢 (おおよそ 65歳以上)	32	20	1	1	1	9	40	239
外国人	1	1	0	0	0	0	0	21
限定せず	5	3	0	0	0	2	6	18

その他	21	9	3	0	0	9	3	156
合計	98	55	10	1	4	28	113	971

(5) ボランティア情報紙の発行

情報紙 名称	発行		配布方法 配布先	内 容
	発行月	部数		
社協とつか	10	3,000	関係機関配架	ボランティアセンター周知
とつかボラン ティアセンタ ー通信	6	1,500	ボランティア登録者（個人・団体）、区内公共施設、地域の会議等での配布等	職員紹介 等
	9			ボランティア募集情報 等
	1			ボランティアメッセージ 等
	3			澤岡詩野氏（ダイヤ高齢社会研究財団）コラム 等



今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、ボランティア登録者・依頼者ともに減少しました。

特に施設等の新型コロナウイルス感染症対応による、依頼の取り下げや中止により、依頼数が激減しました。そのなかで、現在の状況下で依頼を行っている依頼者を確認、開拓してコーディネートを実施しました。来年度も、新型コロナウイルス感染症の状況に対応したコーディネートを行います。

10 福祉教育関係事業 (市社協補助金・会費) 39 千円

(1) 福祉教育の学校等への対応状況

種別		依頼件数	対応件数
学校	小	8	5
	中	0	0
	その他	0	0
企業		2	2
合計		10	7

日程	学校名・団体名	学年	人数	内容	対応
11月	東品濃小学校	全学年		映像による障害理解	福祉関係映像等紹介
11月26日 (木)	東汲沢小学校	3年生	70人	感覚の違いを知ろう	いそごキャラバン
11月30日 (月)～ 12月4日(金)	川上小学校	全学年		視覚障害理解	横浜点訳グループ「はまかぜ」から指導受け川上小の先生が実施
12月8日 (火)	東汲沢小学校	5年生	64人	障害を社会の問題としてとらえる	View-Net 神奈川
12月10日 (木)	東汲沢小学校	2年生	68人	障害を社会の問題としてとらえる	View-Net 神奈川

(2)福祉機材の貸出状況

種別	整備数	貸出件数	種別	整備数	貸出件数	貸出件数合計
車いす	10	2	点字器	40	1	3件
アイマスク	40	0	妊婦体験セット	1	0	
高齢者疑似体験セット	13	0	白杖	10	0	

※今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、車いす・点字器・白杖のみ消毒のうで貸出しを行いました。

11 権利擁護事業 (市社協受託金・事業収入)648千円

(1) 区あんしんセンターの利用状況 (3月末現在)

自分で金銭や大切な書類を管理することに、不安のある高齢者や障害者の財産や権利を守り、安心して日常生活が送れるよう支援するため、「あんしんセンター」事業を実施しました。

①新規契約者数 8件

定期訪問 金銭管理サービス	預かり サービス	利用者(契約者)数	終了者数
83件	12件	83名(昨年度90名)	15件 ※成年後見制度移行9件含む

また、適切なサービスを提供することで利用者の自立生活を支援することを目的に、関係機関・団体と連携して、包括的な支援体制を構築するため、状況に応じてケースカンファレンスを実施しました。

②初回相談件数

区分	認知症	他高齢	知的	精神	身体	その他	合計
回数	10	23	4	9	1	4	51件

(2) 成年後見サポートネットの実施

専門職（弁護士・司法書士・行政書士・社会福祉士）と共に、地域の成年後見制度の利用促進について話し合う（専門職会議）を実施しました。また、地域の相談機関・専門職間の連携促進とスキルアップのための区協議会を、事務局として実施しました。

日程・場所	内容
9月15日（火） 戸塚区役所8階 大会議室A	第一部 専門職会議「区内成年後見アセスメントシート共有による課題整理」 第二部 全体会「区内の権利擁護に関する相談援助技術について」

日程・場所	内容
11月17日（火） 戸塚区役所8階 大会議室A	戸塚区市民後見サポートネット テーマ：「生活保護制度について ～ 死後事務関連～」 講師：戸塚区生活支援課 生活支援係長 神尾 哲也氏

(3) 市民後見人養成・活動支援事業

戸塚区内の市民後見人養成課程修了者に対し、地域の社会資源を知り、関係機関とのネットワークのあり方を学ぶことを目的として、横浜生活あんしんセンターと協力し、次のとおり活動支援を行いました。

日程・場所	内容
8月14日（金） 24日（月） 3月1日（月） フレンズ戸塚	市民後見人バンク登録者面談
3月17日（水）	市民後見人バンク登録者面談（オンライン）

(4) 広報啓発

地域や支援機関からの依頼を受け、権利擁護事業に関する広報・啓発活動を行いました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、訪問活動の回数を減らす等の取組を行いました。また、後見制度への移行等が進み、契約者数が減少。新規契約に向け、待機となっていた利用希望者への対応を進めた結果、待機希望者が5名以下となりました。次年度は、事業の広報啓発に努め、必要な方にサービスを利用していただけるようにします。

12 移動情報センター事業 (市社協受託金・横浜市補助金・事業収入) 9,522 千円

横浜市より受託し、移動に困難を抱える障害児者等からの相談に応じて、相談支援機関との調整・連携を図りながら、各サービス事業者やボランティア等の情報提供や紹介を行いました。また、ガイドボランティア事務取扱団体として、移動支援の担い手発掘及び育成を強化しました。

(1) 相談窓口

初回相談件数	178 件 (昨年度 262 件)
--------	----------------------

【調整件数】

電話	メール F A X 等	来所	訪問	合計
1203	111	40	10	1364

【障害種別】

身体	知的	精神	複数障害	その他	合計
19	98	19	15	27	178

【相談内容】

通院	余暇	通学	通所	制度説明	急を要する 移動	その他	合計
18	23	60	52	3	2	20	178

(2) 推進会議

日程・参加者	会場	内容
5月14日(木)		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
7月16日(木) 推進委員：11名 オブザーバー：3名	フレンズ戸塚 多目的研修室	1 令和元年度 事業報告 2 令和2年度 事業計画 3 令和2年度 第1四半期報告
10月15日(木) 推進委員：9名 オブザーバー：3名	フレンズ戸塚 多目的研修室	1 令和2年度 第2四半期報告 2 令和2年度 上半期報告 3 事業者連絡会について
2月4日(木)	書面開催	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面開催 1 令和2年度 第3四半期報告について 2 事業者連絡会・研修についての報告 3 令和3年度 事業計画(案)について

(3) 事業者連絡会

日程・参加者	会場	内容
5月14日(木) 7名 オブザーバー1名	保土ヶ谷区福祉活 動拠点 多目的研修室	情報交換：「コロナ禍での活動について」 ※保土ヶ谷区との共同開催

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により相談件数も減り、講座等の実施もできない状態でした。ガイドボランティア事業においては、支援対象者やガイドボランティア登録者、双方に対して感染予防の注意喚起を行い、細心の注意をはらい調整を行いました。次年度においても、安心して活動ができるようにフォローアップを行うと共に、周知活動や担い手の発掘にも力を入れていきます。

13 送迎サービス事業 (市社協受託金・事業収入)2,852 千円

単独で公共交通機関を利用して外出することが困難な要介護高齢者・難病患者や障害児者で、家族等の自家用車を活用できない方を対象に、運転ボランティアによる送迎活動を実施しました。

(1) 送迎サービスの利用実績

	外出支援	移送
利用実績(延べ)	44回 (うち高齢44、難病0)	3回
利用者数(実人数)	22人 (うち高齢22、難病0)	2人

(2) 登録状況

	外出支援	移送
利用者登録数	45人 (うち高齢41、難病4)	14人
送迎ボランティア登録数	2人	
本会所有車輛	1台	

(3) 定例会及び研修

開催月日	場所・参加者数	議題
7月9日 (木)	フレンズ戸塚 団体交流室2 6名	【令和2年度 第1回 送迎ミーティング】 1 外出支援サービス事業における今後の対応について 2 意見交換
11月5日 (木)	フレンズ戸塚 団体交流室2 8名(泉区社協からの参加者3名含む)	令和2年度 外出支援サービス事業 安全運転講習 1 運転適性検査(警視庁K2方式) 2 安全運転座学 3 視力検査

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、一定期間運行が出来ない状況が続いた影響から、利用実績回数が昨年度と比べると大幅に減少しました。

運行が再開になった後は、運行前の運転ボランティア及び利用者の体調チェック・検温・アルコール消毒・運行後の車の消毒を徹底し、運行を行いました。次年度においては、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら、運行を行っていきたいと思います。



14 障害関係事業

(1) 自立支援協議会との連携

戸塚区自立支援協議会に事務局として携わり、担当者会、事務局会議、地域啓発分科会、児童分科会、代表者会に職員が出席しました。

15 児童関係事業

(1) 子育て支援者ネットワーク等への参画

地域の中で安心して楽しく子育てできることを目指して、区内の子育て支援関係者による定例会・連絡会に参画し、支援活動の情報把握と提供に努めました。

- ① 戸塚区子育て連絡会全体会 2回（9月14日、2月8日）
- ② 戸塚区子育てサポート連絡会 2回
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止（資料のみ供覧）
- ③ 子育て連絡会（各地域ケアプラザエリア）

(2) 交通遺児支援 （県社協補助金）50 千円

激励金（高校卒業）1名：50,000円

16 生活福祉資金貸付事業 （県社協受託金）15,040 千円

(1) 生活福祉資金貸付事業

低所得者・障害者・高齢者・離職者等に対し、生活の自立と安定のため資金の貸付を実施しました。

	相談対応件数	貸付件数	貸付金額
総合支援資金貸付	0 件	0 件	0 円
臨時特例つなぎ資金貸付	0 件	0 件	0 円
緊急小口資金貸付	1 件	0 件	0 円

福祉資金・教育支援資金貸付	637件	28件	17,425,000円
不動産担保型生活資金貸付	7件	0件	0円
特例緊急小口資金貸付	7,076件	980件	169,700,000円
特例総合支援資金貸付	8,577件	770件	570,544,000円
合計	16,298件	1,778件	757,669,000円

今年度は、新型コロナウイルス感染症により、経済的な影響を受けた方々に対する貸付として、特例緊急小口資金貸付及び特例総合支援資金貸付が増設されたことから、昨年度と比べると相談件数が大幅に増加しました。

(参考:令和元年度 相談対応件数 1,398件、貸付件数 55件、貸付金額 24,855,000円)

相談件数の大幅な増加に伴い、担当職員だけにとどまらず、戸塚区社協の職員全員で相談対応を行いました。新たに特例貸付用のインテークシートを作成し、職員全員で相談対応ができる体制及び仕組みづくりを整えました。

次年度も引き続き、特例貸付の相談対応が続くため、職員一丸となって取り組んでいきたいと思えます。

(2) 生活困窮者自立支援施策への対応

①食支援

生活困窮者や緊急的に食料が必要な方に対し食料提供を行い、生活の自立と安定に向けて支援を行いました。

公益社団法人フードバンクかながわの寄付受入・配分実績

日程	内容	主な配分先
6月 9日 (火)	4箱 (食品)	生活困窮世帯、ひとり親世帯、地域活動団体、子ども食堂、フードパントリー実施団体 等
7月 13日 (月)	4箱 (食品)	
9月 3日 (木)	2箱 (食品)	
10月14日 (水)	3箱 (食品)	
11月 9日 (月)	3箱 (食品)	
1月 11日 (月)	3箱 (食品)	
2月 8日 (月)	3箱 (食品)	
3月 9日 (火)	3箱 (食品)	



戸塚区役所（地域振興課）・横浜市資源循環局（戸塚事務所）の寄付受入・配分実績

日程	内容	主な配分先
11月 5日（木）	121点（58.9キロ） （食品）	生活困窮世帯、ひとり親世帯、地域活動団体、こども食堂、フードパントリー実施団体 等
2月 18日（木）	113点（33キロ） （食品）	
3月 12日（金）	188点（62.5キロ） （食品）	

【新たな取組】 [再掲]

- ・コロナ禍において、生活困窮になっている方やひとり親家庭など食にお困りの方への対応を進めていくため、区内地域ケアプラザに対して区社協で実施している食支援についてチラシを作成し、周知しました。
- ・関係機関（子ども家庭支援課・とっとの芽・NPO 法人フードバンク浜っ子南）と特に食にお困りのひとり親家庭への区内の支援状況等について情報交換会を実施しました。
- ・戸塚区役所（地域振興課）、横浜市資源循環局（戸塚事務所）とフードドライブの常設について覚書を締結し、常設会場において集まった食品の受入を行い、生活困窮になっている方々などに配布しました。

17 福祉団体活動助成事業

(1) ふれあい助成金配分事業

(市社協補助金、共同募金配分金(一般)、福祉基金)11,085 千円

★ふれあい助成金てびきの中で、共同募金配分金が財源であることを周知するよう明記しました。

①申請団体区分と助成金決定額

区分名	団体数	助成決定額（円）
要援護者支援区分	79 団体	9,785,000
障害児者支援区分	10 団体	620,000
福祉のまちづくり区分	18 団体	680,000
健康増進区分	0 団体	0
合 計	107 団体	11,085,000

②助成団体と助成金の内訳

要援護者支援区分 79 件 9,785,000 円

NO	団体名	事業内容	助成金額(円)
1	NPO 法人 ワーカーズ・コレクティブ たすけあい戸塚	集いの場活動	400,000
2	舞フレンド	集いの場活動	400,000
3	ふらっとステーション 虹	集いの場活動	400,000
4	大正団地自治会 サロン まんまる	集いの場活動	400,000

5	東戸塚みんなの居場所「お茶の間楽交」	集いの場活動	400,000
6	移動サービスワーカーズコレクティブらら・むーぶ戸塚	送迎活動	350,000
7	芹ヶ丘ボランティア青空	送迎活動	350,000
8	戸塚無料塾	集いの場活動	300,000
9	アトリエ十色	集いの場活動	300,000
10	川上第一団地 健康団地推進協議会	集いの場活動	300,000
11	カフェえんがわ	集いの場活動	300,000
12	高齢者食事会 サービスグループ りんどう	配食活動	240,000
13	東戸塚地区配食サービスの会「にこにこネットワーク」	配食活動	200,000
14	ねむのき会	配食活動	160,000
15	特定非営利活動法人 ふらっとステーション・ドリーム	家事・生活支援活動	160,000
16	配食ボランティアつむぎの会	配食活動	160,000
17	スマイル 大正	家事・生活支援活動	160,000
18	リリーフ戸塚	家事・生活支援活動	140,000
19	戸塚第三地区 B 班木曜会	集いの場活動	120,000
20	特定非営利活動法人 窓の会	集いの場活動	120,000
21	保育ボランティアグループ たんぽぽ	集いの場活動	120,000
22	ぐるーぷ・ちえのわ・みんなの家	集いの場活動	120,000
23	humhum	集いの場活動	120,000
24	ふれあい いきいきサロン	集いの場活動	120,000
25	骨・骨クラブ	集いの場活動	120,000
26	ちえのわ 寺子屋	集いの場活動	120,000
27	しあわせー輪ゆめプロジェクト	集いの場活動	120,000
28	ぽっぷんまま	集いの場活動	120,000
29	なでしこ食事サービス	集いの場活動	120,000
30	おどりばひよこクラブ	集いの場活動	120,000
31	みんなの朗読	集いの場活動	100,000
32	小田急すみれサロン	集いの場活動	80,000
33	小田急デイサービス しあわせの会	集いの場活動	80,000
34	小田急 助け合い すみれ会	家事・生活支援活動	80,000
35	悠々サロン	集いの場活動	80,000
36	戸塚区保育協カグループ きらきらの会	集いの場活動	80,000
37	認定特定非営利活動法人 こまちぷらす	集いの場活動	80,000
38	花曜会	集いの場活動	80,000
39	汲沢ふれあい会食の会	集いの場活動	80,000
40	サロン絆	集いの場活動	80,000
41	吉田矢部地区 さくらんぼ サロン	集いの場活動	80,000
42	小さな集い	集いの場活動	80,000
43	桜カフェ ひとやすみ	集いの場活動	80,000
44	にこにこ相談室	家事・生活支援活動	80,000

45	わいわいがやがやクラブ	集いの場活動	80,000
46	しらさぎ会	集いの場活動	80,000
47	踊場ふれあいカフェ	集いの場活動	80,000
48	ひだまりサロン名瀬	集いの場活動	80,000
49	かしおのこども食堂	集いの場活動	80,000
50	ラムママ おしゃべりルーム	集いの場活動	80,000
51	によきによきキッズ	集いの場活動	80,000
52	みんな違ってみんないい会	集いの場活動	80,000
53	任意団体 とか	集いの場活動	80,000
54	みんなの歌声カフェサロン会	集いの場活動	80,000
55	舞岡台ボランティアシルバーサービス	家事・生活支援活動	80,000
56	にこにこきっず	集いの場活動	80,000
57	ひらとみんなの食堂実行委員会	集いの場活動	80,000
58	子育てサロン 芽ぐみ	集いの場活動	80,000
59	かいぞう広場	集いの場活動	80,000
60	おどりばちょこっとボランティア	家事・生活支援活動	75,000
61	サロン平台友遊会	集いの場活動	60,000
62	ふれあい「サロン」ひまわり	集いの場活動	50,000
63	リハビリサロン前田	集いの場活動	50,000
64	どんぐり	集いの場活動	50,000
65	サロン柏舞	集いの場活動	50,000
66	おはなし会 たまてばこ	集いの場活動	50,000
67	電電ボランティアの会	送迎活動	50,000
68	ラブリーなせ	家事・生活支援活動	50,000
69	元気プロジェクト	集いの場活動	50,000
70	地域交流会	集いの場活動	50,000
71	サロン かいどう	集いの場活動	50,000
72	倉田男性ボランティアの会	集いの場活動	30,000
73	和やかサロン	集いの場活動	40,000
74	いきいきサロン名瀬	集いの場活動	40,000
75	子育てサロン「きらきら」	集いの場活動	33,000
76	とつ2ウォーキング	集いの場活動	32,000
77	鳥が丘ボランティアの会（青い鳥の会）	家事・生活支援活動	30,000
78	ほっとサロン	集いの場活動	25,000
79	うっかりほっとクラブ	集いの場活動	20,000
小計			9,785,000

障害児者支援区分 10件 620,000円

NO	団体名	事業内容	助成金額(円)
1	木曜会	障害児者支援活動・当事者活動	100,000
2	てのひら会	障害児者支援活動・当事者活動	100,000
3	若杉会	障害児者支援活動・当事者活動	60,000
4	音声訳グループ「戸塚朗読会」	視覚・聴覚障害者支援活動	50,000
5	さざなみの会	障害児者支援活動・当事者活動	60,000
6	NPO 法人ふれんど 45 サンハイツ舞岡	宿泊・日帰りハイク活動	50,000
7	ゆめおんがく	障害児者支援活動・当事者活動	60,000
8	戸塚区視覚障害者福祉協会	宿泊・日帰りハイク活動	50,000
9	つくしブラザーズ	宿泊・日帰りハイク活動	50,000
10	つばさの会	障害児者支援活動・当事者活動	40,000
小計			620,000

福祉のまちづくり区分 18件 680,000円

NO	団体名	事業内容	助成金額(円)
1	戸塚似顔絵の会	その他	40,000
2	けん玉倶楽部 球翔	その他	40,000
3	戸塚パソコン広場	その他	40,000
4	戸塚ネットワーク	その他	40,000
5	戸塚区傾聴ボランティアグループそよかぜ	その他	40,000
6	特定非営利活動法人横浜マイスター友の会	その他	40,000
7	ゆめひろば金井公園	その他	40,000
8	東俣野・つゆくさ自然観察会	その他	40,000
9	NPO 法人こどもの広場もみの木もみの木クラブ	その他	30,000
10	ひがしとつかワンワンおもちゃ病院クラブ	その他	40,000
11	ひまわり体操	その他	40,000
12	ラムーナ健康作り	その他	40,000
13	戸塚区認知症キャラバンメイト連絡会	その他	40,000
14	プチボランティア	その他	40,000
15	戸塚区老人クラブ連合会	その他	30,000
16	「のぼそう愛の手」戸塚民生OB会	その他	40,000
17	夢のおもちゃ箱	その他	30,000
18	いきいき茶話会	その他	30,000
小計			680,000

(2) 新規立ち上げ区分 2件 80,000円 (市社協補助金・共同募金配分金)80千円

地域福祉団体に対し、集いの場などの活動費用の一部を助成しました。

NO	団体名	事業内容	助成金額(円)
1	小田急男性料理サロン	集いの場活動	40,000
2	みんなの食堂スマイル	集いの場活動	40,000
合計			80,000

(3) 戸塚区社協フレンズ助成金配分事業 (共同募金配分金(年末)、善意銀行)850千円

①申請団体区分と助成金決定額

区分名	団体数	助成決定額(円)
障害福祉団体	8団体	400,000
会員加算	45団体	450,000
合計	53団体	850,000

②助成団体と助成金の内訳

障害福祉団体区分 8件 400,000円

NO	団体名	助成金額(円)
1	戸塚区聴覚障害者協会	50,000
2	特定非営利活動法人 りんごの会 地域活動支援センター りんごの木	50,000
3	社会福祉法人クローバー いとぐるま	50,000
4	社会福祉法人 クローバー ゆうきの里 みんなの家	50,000
5	ファミリーホーム ベテル好士	50,000
6	社会福祉法人 クローバー 生活介護事業所 クローバー	50,000
7	社会福祉法人 クローバー Begin	50,000
8	社会福祉法人 クローバー ゆうきの里 れもんの家	50,000
小計		400,000

会員加算区分 45件 450,000円

※戸塚区社協ふれあい助成金配分団体のうち

要援護者支援区分 (31団体)	1.2.3.6.7.8.13.14.15.18.19.20.21.22.23.32.33.34.35.36.37.38.3 9.40.41.42.61.62.63.64.72	310,000
障害児者支援区分 (4団体)	3.4.6.8	40,000
福祉のまちづくり区分 (9団体)	1.2.3.4.5.6.7.9.15	90,000

新規立ち上げ区分 (1 団体)	1	10,000
小計		450,000

- (4) 地域福祉団体の助成 (共同募金配分金)590 千円
地域福祉団体に対し、活動費用の一部を助成しました。

団体名	助成金額(円)
戸塚保護司会	200,000
戸塚区民生委員児童委員協議会	350,000
戸塚区遺族会	40,000
合 計	590,000

18 災害等援護事業 (市社協補助金・会費) 34 千円

- (1) 災害時における戸塚区福祉保健活動拠点への区ボランティア活動拠点設置準備

区役所・区社協の二者で締結している「災害時における戸塚区福祉保健活動拠点への区ボランティア活動拠点の開設等に関する協定」に基づき拠点設置準備を行うと共に、区社協業務継続計画(BCP)に基づく災害時の職員配置や体制整備をすすめました。



- (2) 各機関との連携強化

災害時における戸塚区福祉保健活動拠点への区ボランティア活動拠点設置準備に向けて関係機関との連携をすすめました。

- (3) 小災害緊急援護事業

区内において火災等の被害を受けた罹災世帯に対し、見舞金を支給しました。

区分	件数	見舞金(円)
全焼(全壊)	0 件	0 円
半焼(半壊)	1 件	5,000 円
火災死亡者	0 件	0 円
火災重傷者	0 件	0 円
合計	1 件	5,000 円

19 善意銀行事業

地域の皆様(区民・団体・企業等)からお預かりした善意の寄附(金品)を寄附者の意向をふまえ、助成金等交付審査会で配分先を審議し、区内の団体等に配分しました。

(1) 寄附金の受入と配分

受入 金額：1,680,208円 (前年度781,198円) 件数：27件(前年度23件)

No.	領収日	団体名(敬称略)	寄附金(円)	用途
1	4月6日	横浜東戸塚ライオンズクラブ	160,000	社会福祉一般のために 障害者福祉のために
2	4月9日	神奈川土建一般労働組合横浜戸塚支部	41,040	社会福祉一般のために
3	6月26日	戸塚ルーテル教会附属幼稚園 園長清水臣	10,000	社会福祉一般のために
4	6月29日	中島冨子リフォーム教室 白牡丹	5,600	社会福祉一般のために
5	7月2日	端山 恵治	20,000	社会福祉一般のために
6	7月7日	匿名	100,000	児童福祉のために 障害者福祉のため
7	7月13日	ユニー株式会社アピタ戸塚店	30,541	社会福祉一般のために
8	7月16日	匿名	20,618	社会福祉一般のために
9	7月29日	匿名	20,000	社会福祉一般のために
10	7月17日	戸塚西口共同ビル管理組合	80,000	社会福祉一般のために
11	8月4日	ブリヂストン労働組合 横浜支部	15,000	児童福祉のために
12	8月5日	匿名	23,871	障害者福祉のために
13	8月7日	匿名	200,000	社会福祉一般のために
14	8月19日	M i M i	3,000	社会福祉一般のために
15	8月24日	五反田 佐千子	3,000	社会福祉一般のために
16	8月17日	匿名	400,000	社会福祉一般のために
17	8月19日	匿名	100,000	社会福祉一般のために
18	9月1日	匿名	50,000	児童福祉のために

19	10月9日	木野 清枝	100,000	社会福祉一般のために
20	11月20日	戸塚ルーテル教会附属幼稚園 園長清水臣	10,000	社会福祉一般のために
21	12月10日	戸塚区少年野球連盟	46,000	児童福祉のために
22	12月24日	匿名	30,000	障害者福祉のために
23	12月25日	戸塚ルーテル教会附属幼稚園 園長清水臣	10,000	社会福祉一般のために
24	3月10日	金子良光 踊場合唱 JOY	19,438	社会福祉一般のために
25	3月11日	匿名	15,000	社会福祉一般のために
26	3月16日	端山 恵治	20,000	社会福祉一般のために
27	3月24日	とつかルーテル保育園保護者有志	147,100	児童福祉のために

(2) 寄託品の受入と配分

受入 件数：16件（前年度7件）

No.	預託日	団体名(敬称略)	預託品	配分先
1	4月6日	境 俊介	マスク	第1種会員（保育園）
2	4月3日	匿名	食用油	第1種会員（母子施設）
3	5月11日	匿名	手作りマスク	第1種会員（母子施設）
4	5月13日	小雀建設株式会社 代表取締役小泉和雄	マスク	第1種会員（高齢施設）
5	6月5日	神戸 和子	バスタオル	区社協
6	5月18日	匿名	おもちゃ	第1種会員（地域療育センター）
7	6月17日	山口 知之	精米	第5種会員（障害者施設）
8	8月21日	烏が丘自治会	政府からの支給された布マスク	必要な方に配分
9	9月3日	六国建設株式会社	ゼリー、タオル等	第3種会員（地区社協）
10	12月4日	金原 紀夫	精米	第7種会員（児童施設）
11	12月4日	匿名	精米	第7種会員（児童施設）
12	12月18日	匿名	精米・文具等	第7種会員（児童施設）

13	12月24日	匿名	消毒液	第5種会員（障害者施設）
14	1月26日	戸塚西口共同ビル管理組合	防災備蓄（食品）	フードバンク浜っ子南
15	2月17日	六国建設株式会社	おかき等	フードバンク浜っ子南 第3種会員（地区社協）
16	3月25日	匿名	歯磨き粉	第1種会員（高齢施設）



20 役職員研修

地域福祉の推進を担う社協職員の資質の向上を目指し、市社協人材育成計画に基づき、市社協や関係機関等が主催する研修に参加しました。

21 苦情解決・情報公開

(1) 苦情申立窓口

社会福祉法第82条の趣旨の基づき、苦情解決に向けての窓口を整備しました。

○対応件数：0件

(2) ご意見箱の設置

利用者・団体の意見や要望を聞く場として、2階と3階の二か所にご意見箱を設置しました。

○投稿件数：0件

(3) 窓口満足度調査

窓口におけるサービスの改善・向上をはかるため窓口満足度調査を実施しました。

○実施期間：11月1日～11月30日

(4) 情報開示請求

○対応件数：0件

22 福祉保健活動拠点(フレンズ戸塚)の運営

(区受託金・負担金他)14,435千円

(1) 会場の利用状況

利用回数：延べ1,607回

(2) 利用登録団体数

登録団体数：127団体

(3) 利用者調整会議の開催(1回)

※6月に予定していた利用調整会議は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

(4) 消防訓練の実施(2回)

日程	場所・人数	内容	所轄消防署の立会い有・無
10月29日(木)	フレンズ戸塚 20名	・通報、避難訓練	無
3月29日(月)	フレンズ戸塚 13名	・通報、避難訓練	無

(5) 戸塚区福祉保健活動拠点指定管理者の受託

指定管理期間：平成28年4月1日から令和2年3月31日

※なお、令和3年4月1日から令和8年3月31日までの指定管理者として指定されました。

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言を受け、令和2年3月1日から令和2年5月31日までの間、初めて福祉保健活動拠点を閉館しました。宣言解除後も、拠点利用に関して定員制限や換気等が求められました。その中で利用者の安全を第一に、拠点の利用の際に、検温・消毒等を実施するように工夫を重ねていきました。来年度も、新型コロナウイルス感染症の状況に対応した拠点運営を行います。

23 団体事務

神奈川県共同募金会横浜市戸塚区支会

日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部戸塚区地区委員会

戸塚区遺族会 の事務局を担いました。

また、戸塚保護司会、戸塚区更生保護女性会の活動を支援しました。